

令和8年度 まるっと安芸中野事業計画書

1 今年度の目標

・地域の魅力の再発見と向上
・中野らしさを視覚的に伝え地域内外の認知度を高めるとともに、地域住民の一体感の醸成を促す

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	まるっと安芸中野公式キャラクター作成	(10)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	広島市立中野小学校等	
(3) 参加者数	100 人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 まるっと安芸中野	
4 取組内容	(1) 中野地区独自のキャラクターとロゴの作成。 (2) ”中野らしさ”をコンセプトに設定しキャラクターを公募する。 (3) 入選者には記念品を贈呈する。 (4) 募集したマークをデザイナーへの委託によりデザイン化し、今後、様々な広報活動に展開していく。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) ① 中野小学校区及びまるっと安芸中野の認知度向上。 ② “中野らしさ”についてキャラクターを考える上で、中野の魅力について地域で考える機会となる。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) ① 地域の魅力の再発見と向上が見込まれる。 ② 中野らしさを視覚的に伝え地域内外の認知度を高めるとともに、地域住民の一体感の醸成を促すことができる。	

3 自主財源で実施する事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	取組内容
		特定地域共同活動に当たらない場合は、記載しなくてもよい。	

令和8年度 まるっと安芸中野事業計画書

1 今年度の目標

・中野で実施されるイベント等での演奏や、町内の施設への慰問などを実施することで、地域の賑わいに貢献
・多世代交流やブランディング効果
・音楽を通して様々な効果を期待

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	まるっと安芸中野バンド	(10)事業中(2)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	ケアハウス安芸中野地下1階地域交流ホール他	
(3) 参加者数	10～20 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 まるっと安芸中野バンド	
4 取組内容	中野学区内で吹奏楽バンド「まるっと安芸中野バンド」を結成し、次の事業を行う。 ・地域イベントへの出演 ・定期演奏会の開催 ・その他目的達成のために必要な事業	
目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ① 世代を超えた交流が少なく、地域活動に関わる人員も固定化しているので、音楽活動を通して多世代交流や地域コミュニティの活性化と発展に貢献することを目的とする。 ② 音楽は老若男女問わず多世代で交流できる活動として地域を活気づけることができる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ① 中野で実施されるイベント等での演奏や、町内の施設への慰問などを実施することで、地域の賑わいに貢献できる。 ② 多世代交流やブランディング効果を期待。 ・過去に音楽活動をしていたが活動する場所や時間がない住民にとって、身近な場所で活動ができる機会となる。 ・まるっと安芸中野のモデル事業として、後進の道標になる。 ・たくさんの住民が音楽を身近に触れることができる機会になる。 ③ 音楽を通して様々な効果がある。 ・ヒーリング（癒し）効果、活性（盛り上げ）効果、絆（結束力）、達成感（承認欲求・自己肯定感）	

3 自主財源で実施する事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	取組内容
		特定地域共同活動に当たらない場合は、記載しなくてもよい。	

令和8年度 まるっと安芸中野事業計画書

1 今年度の目標

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・安芸中野駅前の賑わいを取り戻し、住民同士の交流が活性化させる ・冬のイルミネーションが地域住民に季節を感じさせ、安芸中野に帰ってきた住民を明るく出迎える ・明るくなるため、犯罪や事故の危険性を少なくする ・中野地区魅力や愛着を感じた住民を事業の運営側に勧誘するなど、次世代の担い手発掘 |
|--|

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	「まあのよりん祭や」実施支援事業	(10)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年12月1日 ～ 令和9年1月31日	
(2) 実施場所	JR安芸中野駅周辺	
(3) 参加者数	20人(設置見込者) 来場者500人/日	
(4) 主催団体	団体名 中野駅前商店会	
4 取組内容	(1) 中野駅前商店会が実施する地域活性化事業「まあのよりん祭や」を財政的に支援する。 (2) 「まあのよりん祭や」実施にあたっては、中野駅前広場等のイルミネーションにより街を明るくする。さらに、地域のこどもたちが事業に参画する手法を取り入れ、こどもたちの郷土愛を育む一助とすることを中野駅前商店会に要望する。 (3) 商店会と、地域団体や企業等との連携を支援する。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) ① 昨年、途絶えていたイルミネーションの設置とイベント「まあのよりん祭りや」を実施したところ、地域の方々がたくさん参加をされ大いに盛り上がった。これを一年だけのイベントで終わらず、中野地区の冬の風物詩として住民交流の場として定着させていきたい。 ② 駅前を明るくすることで、防犯や事故防止に寄与する。 ③ こどもが地域行事に参画することで、こどもの郷土愛を育む。 ④ 駅前商店会を活性化させることで、地域コミュニティの場を再生・強化する。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) ① 安芸中野駅前が賑わいを取り戻し、住民同士の交流が活性化する。 ② 冬のイルミネーションが、地域住民に季節を感じさせ、安芸中野に帰ってきた住民を明るく出迎えることができる。 ③ 明るくなるため、犯罪や事故の危険性を少なくすることができる。 ④ 中野地区魅力や愛着を感じた住民を事業の運営側に勧誘するなど、次世代の担い手発掘ができる。	

3 自主財源で実施する事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	取組内容

特定地域共同活動に当たらない
場合は、記載しなくてもよい。

令和8年度 まるっと安芸中野事業計画書

1 今年度の目標

- | |
|--|
| ・中野地区全体に向けたよりにぎわいのある祭りに発展させ、地域を活性化させる |
| ・地域の担い手とこどもが協力してボランティア活動することにより、両者の交流が深まり、中野地区住民の連携を強化 |
| ・祭りに興味を持ったこどもたちが、将来は運営側として活躍するなど、次世代の地域行事の担い手の発掘・育成に期待 |

2 ひろしまＬＭＯ運営助成金を活用する事業

1 事業名	まるっと安芸中野ふれあい祭り	(10) 事業中(4) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(15) (1)～(14)に掲げる活動の新たな担い手の確保に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年6月7日(日) 10:00～15:00	
(2) 実施場所	中野小学校グラウンド	
(3) 参加者数	1,000 人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 <u>まるっと安芸中野ふれあい祭り実行委員会</u>	
4 取組内容	(1) MCやゲスト出演者の調整及びステージでの演出をするなど、祭りの企画、設営を行う。 (2) 中野タクシーによる移動支援を実施し、来場者数を増やす。(対象者は高齢者、障がい者など) (3) 地域の方々、こどもたちと共同して出店をする。 (4) 地域の団体に日頃の活動を発表してもらう。(ダンスグループ、太鼓など) (5) 祭り実行委員会を中心に、中野学区の様々な団体やボランティアが連携して祭りを実施する。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) ① 町を活性化して交流を促進し、こどもからお年寄りまで三世代に渡り共に助け合えるような町を作るため、地域が一丸となって大きな規模の祭りを運営し、地域で活躍している住民の活躍の場を設けるだけでなく、新たな担い手の発掘や団体間の連携強化を目指す。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) ① 「まるっと安芸中野ふれあい祭り」を中野地区全体に向けたよりにぎわいのある祭りに発展させることで、地域が活性化する。 ② 地域の担い手とこどもが協力してボランティア活動をすることにより、両者の交流が深まり、中野地区住民の連携が強化される。 ③ 「まるっと安芸中野ふれあい祭り」に興味を持ったこどもたちが、将来は運営側として活躍するなど、次世代の地域行事の担い手の発掘・育成が期待できる。	

3 自主財源で実施する事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	取組内容

特定地域共同活動に当たらない場合は、記載しなくてもよい。

令和8年度 まるっと安芸中野事業計画書

1 今年度の目標

- ・ 田んぼの減少、火事の危険、子供会解散等の理由により、運営に困っている町内会を支援
- ・ 伝統行事継続に協力できる体制づくりの手助け

2 ひろしまＬＭＯ運営助成金を活用する事業

1 事業名	とんど祭り事業支援	(10)事業中(5)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年11月1日 ～ 令和9年1月31日	
(2) 実施場所	6自治会・町内会の近くの田んぼ	
(3) 参加者数	500 人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 まるっと安芸中野	
4 取組内容		
(1)	町内会・自治会で開催されているとんど祭りをまるっと安芸中野のホームページに掲載して、他の町内会や、町内会加入者以外の方への参加を呼びかける。	
(2)	「とんど」を囲み、来場者へぜんざいなどを提供し、地域交流の場を提供する。	
5 目的・効果		
(1)	目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) ① 食材費を提供することで、各地域で行われているとんど祭りの存続の一助とする。 ② ホームページ掲載によって祭りの日時を事前に地域に知らせ、参加できる人数を増やす。 ③ とんど祭りで地域交流が盛んに行われることで、若者、他の町内会など普段関わりが少ない方が郷土愛を育み、地域の賑わいづくりにつながる。	
(2)	効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 田んぼの減少、火事の危険、子ども会の解散等の理由により、運営に困っている町内会を支援し、行事継続に協力できる体制づくりの手助けを行える。	

3 自主財源で実施する事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	取組内容

特定地域共同活動に当たらない
場合は、記載しなくてもよい。

令和8年度 まるっと安芸中野事業計画書

1 今年度の目標

- ・ 中高生と地域住民が顔の見える関係になることで、困ったときに相談しやすい地域のつながりの構築
- ・ 高校生が中学生を支える立場を経験することで、責任感や自己肯定感の育成
- ・ 大学生ボランティアの参画により、中高生が一人で抱え込むことなく、安心して活動に取り組める体制の強化
- ・ ボランティア活動をきっかけに、地域活動に継続的に関わる若者が増えることを期待

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	中高生ボランティアチーム あきのわ	(10) 事業中(6) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(15) (1)～(14)に掲げる活動の新たな担い手の確保に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月 ～ 令和9年3月	
(2) 実施場所	地域の各所	
(3) 参加者数	20 人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 まるっと安芸中野(子育て支援、新しいコミュニティへの支援)	
4 取組内容	(1) 中学生・高校生を対象としたボランティアチームを運営し、地域活動に継続的に関わる機会を提供する。 (2) 昨年度から活動している中学生ボランティアチームを発展させ、進学した高校生も継続して参加できる体制とする。 (3) 活動は登録制とし、中高生が同一チームとして月2回程度の活動を行う (4) 主な活動内容は以下のとおりとする。 ① 地域のお祭りや行事の準備・運営補助 ② 地域イベントの企画・運営への参画 ③ 地域から依頼のあったボランティア活動への参加 (5) また、活動の際には大学生ボランティアが中高生に寄り添い、活動前後の振り返りや対話をサポートする。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) ① 中高生が地域行事やボランティア活動に主体的に関わることで、地域の良さや課題を自分ごととして捉えるとともに、地域住民との顔の見える関係性を築くことを目的とする。 ② また、高校生が継続して関わることで、中学生から高校生へと段階的に役割を引き継ぎ、将来的な地域の担い手育成につなげる。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) ① 中高生と地域住民が顔の見える関係になることで、困ったときに相談しやすい地域のつながりが生まれる。 ② 高校生が中学生を支える立場を経験することで、責任感や自己肯定感が育まれる。 ③ 大学生ボランティアの参画により、中高生が一人で抱え込むことなく、安心して活動に取り組める体制が強化される。 ④ ボランティア活動をきっかけに、地域活動に継続的に関わる若者が増えることが期待できる。	

3 自主財源で実施する事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	取組内容

特定地域共同活動に当たらない
場合は、記載しなくてもよい。

令和8年度 まるっと安芸中野事業計画書

1 今年度の目標

・三世代の交流とボランティアの活動を契機に、多世代が交流する住み良いまちづくりにつなげる
・中野の子育て支援を手厚くすることで、地域に人口が流入する一助とする

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	なかのくじらのおびれ食堂	(10)事業中(7)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	原則毎月第3日曜日	
(2) 実施場所	ケアハウス安芸中野地下1階地域交流ホール	
(3) 参加者数	延べ1,000 人(見込み) ※ボランティア含む	
(4) 主催団体	団体名 <u>なかのくじらのおびれ食堂</u>	
4 取組内容	(1) ボランティアによるカレーライスなどの調理と提供。 (2) 地域の方たちの居場所作り。自習スペースや喫茶コーナーなどの設置。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) ① 多世代の交流を通して地域コミュニティの活性化を図る。 ② 潜在しているこどもや独居の高齢者の孤食や貧困を解消する一助とする。 ③ こども会解散によるこども・親の地域内孤立を防ぎ、地域で子育て世帯を支えていく。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) ① 三世代の交流とボランティアの活動を契機に、多世代が交流する住み良いまちづくりにつながる。 ② 中野の子育て支援を手厚くすることで、地域に人口が流入する一助となる。	

3 自主財源で実施する事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	取組内容

特定地域共同活動に当たらない場合は、記載しなくてもよい。

令和8年度 まるっと安芸中野事業計画書

1 今年度の目標

・こどもが食に関心を持ち、身近な食材で自炊できる力を養う
・食を通じ健康的な生活習慣の意識を高め、友達と楽しく料理を学ぶ
・子ども会解散に伴うこどもと地域との交流の機会減少を防ぐ

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	チャレンジ・ザ・キッチン	(10)事業中(8)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日 (年2回)	
(2) 実施場所	広島市立中野小学校	
(3) 参加者数	30 人 (見込み)	
(4) 主催団体	団体名 中野学区民生委員児童委員協議会	
4 取組内容	(1) 実施内容：管理栄養士による料理教室 (年2回開催) (2) 参加人数：1回あたり30人程度 年2回 (3) 対象：小学4年生～6年生の希望者	
5 目的・効果	(1) 目的 (どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 核家族、両親共働きなどこどもを取り巻く環境は多様化しており、食事の準備は保護者の大きな負担になっている。身近な食材を使って、子供自身がご飯を準備することで、家族内で役に立つという自己肯定感の向上に繋がり、保護者の負担も軽減していく。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) ① こどもが食に関心を持ち、身近な食材で自炊できる力を養える。 ② 食を通じ健康的な生活習慣の意識を高め、友達と楽しく料理を学べる。 ③ 子ども会解散に伴うこどもと地域との交流の機会減少を防ぐことができる。	

3 自主財源で実施する事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	取組内容
		特定地域共同活動に当たらない場合は、記載しなくてもよい。	

令和8年度 まるっと安芸中野事業計画書

1 今年度の目標

・幅広い世代の住民が参加することで、世代間の交流を深める
・連携団体間の関係性を深め、地域課題の解決に向けた実施体制を強化する

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	中野学区民運動会の準備事業	(10) 事業中 (9) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(2) 地域住民の健康の維持増進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和9年1月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	中野小学校グラウンド	
(3) 参加者数	100 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 中野地区連合町内会（中野学区民運動会実行委員会）	
4 取組内容	(1) 令和9年4月に実施予定の中野学区民運動会について、以下の準備を行う。 ① 広く住民へ学区民運動会を周知。 ② 学区民運動会に必要な備品を購入。（消耗品、ビブス、賞品等） (2) 【町民運動会の概要】 ① 地区ブロックごとの小学生から若年を対象とした男女別リレー ② 小学生・未就学児別のかけっこ・高齢者対象の満水リレー ・若者対象のマラソン・等々	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ① こどもから高齢者まで幅広い世代が参加できる、地区をあげた運動会を開催することで、地域全体の絆を深める。 ② 運動会の準備や運営を地域住民と協力して実施することで、地域の一体感を高める。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ① 幅広い世代の住民が参加することで、世代間の交流が深まる。 ② 連携団体間の関係性が深まり、地域課題の解決に向けた実施体制の強化に繋がる。	

3 自主財源で実施する事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	取組内容

特定地域共同活動に当たらない場合は、記載しなくてもよい。

令和8年度 まるっと安芸中野事業計画書

1 今年度の目標

- ・安全安心について考える機会をつくることで、防犯・防災・交通安全などの活動の重要性を一層理解し、課題解決に向けてともに取り組むきっかけとする
- ・地域住民と防犯・防災・交通安全団体など、地域住民同士が顔見知りとなることにより、何かあれば相談できる関係性を構築する

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	安全・安心な中野地区を創る	(10)事業中(10)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年6月1日 ～ 令和8年12月31日	
(2) 実施場所	広島市立中野公民館（2階大ホール）など	
(3) 参加者数	約80人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 まるっと安芸中野（防災・防犯・交通安全グループ）	
4 取組内容	(1) 既存の防犯・防災・交通安全団体などを中心に取り組む。 (2) 安全安心な中野地区を創るための懇談会を開く。 ① 小学校区で防災・防犯のアプリの使用を推進している他地区の先行事例の話を聞く。 ② 町内会・自治会の会長や、関心のあるこどもをはじめとする地域住民で、過去・現状をふまえ、課題ややっていきたいことを話し合い、今後の課題解決のための活動や担い手の育成に生かす。 (3) アプリの活用などによって、中野小学校区の地域住民などが最新情報などを共有し、自分たちの命を自分たちが守っていく態勢を強化する。（アプリ「オトモポリス」「避難所へGO!」など） ① チラシやこむねっとひろしまなどで推奨するアプリとその使い方などの周知、スマホスクールを開催し支援する。 ② アプリ「みんなの自主防」などの情報を収集したり、最新情報を活用するための課題などを検討する。 ③ 中野小学校区の防犯・防災・交通安全団体などから地域住民に対し、情報発信をする。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 現存の防犯・防災・交通安全団体などの連携強化を図り、地域住民が自分たちの命を守ることができるよう、防災・防犯意識の向上させる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ① 安全安心について考える機会をつくることで、防犯・防災・交通安全などの活動の重要性を一層理解し、課題解決に向けてともに取り組むきっかけとすることができる。 ② 地域住民と防犯・防災・交通安全団体など、地域住民同士が顔見知りとなることにより、何かあれば相談できる関係性が構築できる。 ③ 地域住民が中野小学校区などの最新情報を入手しやすくすることで、もしもの際に個々が冷静・迅速に行動できるよう促すことができる。また、多くの人の声掛けなどが可能となり、地域の安全安心を向上させることができる。	

3 自主財源で実施する事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	取組内容
		特定地域共同活動に当たらない場合は、記載しなくてもよい。	